

交通誘導警備員算出根拠（市道迫間向井山線）

工 種	計 算 式		備考
道 路 土 工			
	掘削	12.0 m ² ÷ m ² / 日 =	
舗 装 工			
	路盤工 (歩道部)	18.3 m ² ÷ m ² / 日 =	
	表層 (歩道部)	18.3 m ² ÷ m ² / 日 =	
	路盤工 (乗入部)	13.1 m ² ÷ m ² / 日 =	
	表層 (乗入部)	18.4 m ² ÷ m ² / 日 =	
	路盤工 (駐車場)	29.0 m ² ÷ m ² / 日 =	
	表層 (駐車場)	29.0 m ² ÷ m ² / 日 =	
排 水 構 造 物 工			
現場打側溝蓋工(A)	鉄筋工	50.8 kg ÷ kg / 日 =	
	コンクリート	0.5 m ³ ÷ m ³ / 日 =	
	型枠	2.1 m ³ ÷ m ³ / 日 =	
現場打側溝蓋工(B)	鉄筋工	85.1 kg ÷ kg / 日 =	
	コンクリート	1.0 m ³ ÷ m ³ / 日 =	
	型枠	3.7 m ³ ÷ m ³ / 日 =	
構 造 物 撤 去 工			
構造物取壊し工	舗装版切断	18.5 m ÷ m / 日 =	
	舗装版切断	50.2 m ² ÷ m / 日 =	
	舗装版破碎	60.4 m ² ÷ m ² / 日 =	
	コンクリート取壊し	2.0 m ² ÷ m ³ / 日 =	

交通誘導警備員 A	1 人 × 日 × 1.2 = 人	人
交通誘導警備員 B	人 × 日 × 1.2 = 人	人

※作業日数の計算は、少数第二位を四捨五入し少数第一位止めとする。
 ※交通誘導警備員の人数は、少数以下を切り上げ整数止めとする。

交通誘導警備員算出根拠（市道夏草第一里線）

工 種	計 算 式		備考
道 路 土 工			
	掘削	$32.0 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
舗 装 工			
	路盤工	$284.6 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	不陸整正	$13.2 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	表層	$297.8 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	アスカーブ	$20.0 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
構 造 物 撤 去 工			
構造物取壊し工	As舗装版切断	$12.0 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	Co舗装版切断	$2.6 \text{ m} \div \text{m} / \text{日} =$	
	As舗装版破碎	$285.2 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	
	Co舗装版破碎	$2.6 \text{ m}^2 \div \text{m}^2 / \text{日} =$	

交通誘導警備員 A	$1 \text{ 人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人
交通誘導警備員 B	$\text{人} \times \text{日} \times 1.2 =$	人	人

※作業日数の計算は、少数第二位を四捨五入し少数第一位止めとする。
 ※交通誘導警備員の人数は、少数以下を切り上げ整数止めとする。